

別添 1_内部質保証に関する自己点検・評価（モニタリング）自己評価シート（情報理工学域）

基準 1 学位授与方針が具体的かつ明確であること		
分析項目	分析項目に係る根拠資料・データ欄	備考
[分析項目 1-1] 学位授与方針が具体的かつ明確であること ※学域及び類毎	・公表された学位授与方針 1-1-01_情報理工学域ディプロマ・ポリシー	
【特記事項】		
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。 該当なし		
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。 該当なし		
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ■ 当該基準を満たす		
【優れた成果が確認できる取組】 該当なし		
【改善を要する事項】 該当なし		

基準2 教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること		
分析項目	分析項目に係る根拠資料・データ欄	備考
[分析項目2-1] 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が分かりやすいように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること ※学域及び類毎	・公表された教育課程方針	
	2-1-01_情報理工学域カリキュラム・ポリシー	
[分析項目2-2] 教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること ※学域及び類毎	・公表された教育課程方針及び学位授与方針	
	1-1-01_情報理工学域ディプロマ・ポリシー	
	2-1-01_情報理工学域カリキュラム・ポリシー	
【特記事項】		
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。 該当なし		
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。 該当なし		
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ■ 当該基準を満たす		
【優れた成果が確認できる取組】 該当なし		
【改善を要する事項】 該当なし		

基準3 教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること		
分析項目	分析項目に係る根拠資料・データ欄	備考
[分析項目3-1] 教育課程の編成が、体系的を有していること ※学域及び類毎	・体系的が確認できる資料（カリキュラム・マップ、コース・ツリー、ナンバリング等）	
	3-1-01_情報理工学域カリキュラムマップ	
	3-1-02_情報理工学域カリキュラム及び履修科目関連図	
	・授業科目の開設状況が確認できる資料（コース、教養・専門基礎・専門等の分類、年次配当、必修・選択等の別）	
[分析項目3-2] 授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること ※学域	3-1-02_情報理工学域カリキュラム及び履修科目関連図	
	・分野別第三者評価の結果	
	・日本学術会議による参照基準等に準拠した内容になっていることが確認できる資料	
	・シラバス	
	3-2-01_情報理工学域シラバス	
・その他自己点検・評価において体系的や水準に関する検証を実施している場合はその状況がわかる資料		
[分析項目3-3] 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること ※学域	・明文文化された規定類	
	3-3-01_電気通信大学情報理工学域履修規程	第14条～16条
【特記事項】		
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。 該当なし		
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。 該当なし		
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ■ 当該基準を満たす		
【優れた成果が確認できる取組】 該当なし		
【改善を要する事項】 該当なし		

基準4 学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること		
分析項目	分析項目に係る根拠資料・データ欄	備考
[分析項目4-1] 1年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること ※学域	・1年間の授業を行う期間が確認できる資料(学年暦、年間スケジュール等)	
	4-1-01_令和3年度学事日程(情報理工学域・情報理工学部)	
	4-1-02_令和3年度大学行事及び学生関係行事等に伴う休業・休講	
[分析項目4-2] 各科目の授業期間が15週にわたるものとなっていること。なお、15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげていること ※学域	4-1-03_令和3年度授業日数(情報理工学域・情報理工学部)	
	・1年間の授業を行う期間が確認できる資料(学年暦、年間スケジュール等)	
	4-1-01_令和3年度学事日程(情報理工学域・情報理工学部)	
	4-1-02_令和3年度大学行事及び学生関係行事等に伴う休業・休講	
	4-1-03_令和3年度授業日数(情報理工学域・情報理工学部)	
	・シラバス	
[分析項目4-3] 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること ※学域	3-2-01_情報理工学域シラバス	
	・シラバス、学修要覧等関係資料	
[分析項目4-4] 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること ※学域	3-2-01_情報理工学域シラバス	
	・教育上主要と認める授業科目	
	4-4_教育上主要と認める授業科目	
[分析項目4-6] 夜間において授業を実施している課程を置いている場合は、配慮を行っていること ※先端工学基礎課程	・シラバス	
	3-2-01_情報理工学域シラバス	
	・実施している配慮が確認できる資料	
	4-6-01_情報理工学域(夜間主)先端工学基礎課程_課程の特色	

【特記事項】

① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。

該当なし

② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、**根拠資料とともに箇条書きで記述すること。**

<p>【活動取組 4-A】 令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、学生がオンライン授業を受講するに当たって、新生を対象とした、eラーニングを使って課題をクリアしながら必要な事前準備を行う「UEC チャレンジ (UEC Challenge)」を実施するなど、オンライン授業の円滑な実施を促した。 また、オンライン授業の受講に際して必要となる機器類や通信回線等の所持状況を調査し、通信機器や通信環境が不十分な学生に対しては、個別に学生に対して連絡を行い、Wi-Fiルーターの貸出を行うなど、全ての学生がオンライン授業を受講できるよう、きめ細やかにサポートした。</p>	<p>4-A-01_UEC Challenge</p>	
<p>なお、本学では、全学的に統一したオンライン教育のプラットフォームを提供するのではなく、リアルタイム型オンライン授業、WebClass (LMS) やG-Suiteを利用したオンデマンド型授業、講義室での授業収録システムを用いたビデオ配信など、複数のオンライン授業のモデルケースを全教員に提示して、教員が個々の授業の適正に応じて選択できるよう工夫を行い、スムーズなオンライン授業への移行を可能にした。また、新たにLMSやリアルタイムオンライン授業の操作補助等に対応するため、教務補佐員を雇用し、オンライン授業に関するサポート体制を構築した。</p>	<p>4-A-02_遠隔授業受講の手引き</p>	

【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。

■ 当該基準を満たす

【優れた成果が確認できる取組】

活動取組 4-A について、令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、学生がオンライン授業を受講するに当たって、新生を対象とした、eラーニングを使って課題をクリアしながら必要な事前準備を行う「UEC チャレンジ (UEC Challenge)」を実施するなど、オンライン授業の円滑な実施を促した。

また、オンライン授業の受講に際して必要となる機器類や通信回線等の所持状況を調査し、通信機器や通信環境が不十分な学生に対しては、個別に学生に対して連絡を行い、Wi-Fiルーターの貸出を行うなど、全ての学生がオンライン授業を受講できるよう、きめ細やかにサポートした。

なお、本学では、全学的に統一したオンライン教育のプラットフォームを提供するのではなく、リアルタイム型オンライン授業、WebClass (LMS) やG-Suiteを利用したオンデマンド型授業、講義室での授業収録システムを用いたビデオ配信など、複数のオンライン授業のモデルケースを全教員に提示して、教員が個々の授業の適正に応じて選択できるよう工夫を行い、スムーズなオンライン授業への移行を可能にした。また、新たにLMSやリアルタイムオンライン授業の操作補助等に対応するため、教務補佐員を雇用し、オンライン授業に関するサポート体制を構築した。

【改善を要する事項】

該当なし

基準5 学位授与方針に則して適切な履修指導、支援が行われていること		
分析項目	分析項目に係る根拠資料・データ欄	備考
[分析項目5-1] 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること ※学域	・履修指導の実施状況	
	5-1_履修指導の実施状況	
	5-1-01_GLTP(UECグローバルリーダー育成プログラム)について	
	5-1-02_令和3年度対象 GLTP募集チラシ	
	5-1-03_令和3年度GLTP カリキュラム・イベントスケジュール	
	5-1-04_令和3年度 GLTP学生の活動実績	
[分析項目5-2] 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること ※学域	5-1-05_電気通信大学アカデミックアドバイザーに関する規程	
	・学習相談の実施状況	
	5-2_学習相談の実施状況	
[分析項目5-3] 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること ※学域	5-2-01_令和3年度学生メンター制度の実施状況について	
	・社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組	
	5-3_社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組	
	・インターンシップを実施している場合は、その実施状況が確認できる資料（実施要項、提携・受入企業、派遣実績等）	
[分析項目5-4] 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること ※学域	5-3-01_2021年度インターンシップガイダンス	
	・履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況	
	5-4_履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況	
	・チューター等を配置している場合は、その制度や配置状況が確認できる資料	
	5-4-01_令和3年度「学生支援担任」一覧	
	・留学生に対する外国語による情報提供（時間割、シラバス等）を行っている場合は、その該当箇所	
	5-4-02_学部留学生向け日本語・日本文化科目	
	・障害のある学生に対する支援（ノートテーカー等）を行っている場合は、その制度や実施状況が確認できる資料	
	5-4-03_令和3年度電気通信大学実態調査	
	・特別クラス、補習授業を開設している場合は、その実施状況（受講者数等）が確認できる資料	
5-4-04_令和3年度専門選択科目履修者数一覧		
5-4-05_数学補習授業の実施状況		
・学習支援の利用実績が確認できる資料		
5-4-03_令和3年度電気通信大学実態調査		

【特記事項】		
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。		
該当なし		
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、 <u>根拠資料</u> とともに箇条書きで記述すること。		
該当なし		
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。		
■ 当該基準を満たす		
【優れた成果が確認できる取組】		
該当なし		
【改善を要する事項】		
該当なし		

基準6 教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること		
分析項目	分析項目に係る根拠資料・データ欄	備考
[分析項目6-1] 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること ※学域	・成績評価基準	
	6-1-01_国立大学法人電気通信大学学則	第43条
	3-3-01_電気通信大学情報理工学域履修規程	第8条の2
[分析項目6-2] 成績評価基準を学生に周知していること ※学域	・成績評価基準を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料等の該当箇所	
	3-2-01_情報理工学域シラバス	
	6-2-01_令和3年度 情報理工学域学修要覧	p. 32
[分析項目6-3] 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること ※学域	・成績評価の分布表	
	6-3-01_情報理工学域教育委員会資料_成績評価分布	
	・成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料	
	6-3-01_情報理工学域教育委員会資料_成績評価分布	
	6-3-02_情報理工学域教育委員会_成績評価分布(参考配付資料)	
	・GPA制度の目的と実施状況についてわかる資料	
	6-3-03_電気通信大学UEC学域奨学金規程	
	6-3-04_電気通信大学UEC修学支援奨学金規程	
	6-3-05_電気通信大学入学料・授業料免除及び徴収猶予選考基準	
	6-3-06_電気通信大学UEC成績優秀者特待生制度規程	
6-3-07_令和3年度_UECグローバルリーダー育成プログラム(GLTP)募集要項		
[分析項目6-4] 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること ※学域	・学生からの成績評価に関する申立ての手続きや学生への周知等が明示されている資料	
	6-2-01_令和3年度 情報理工学域学修要覧	p. 33
	6-4-01_成績判定に対して異議がある場合の取扱いの変更について	
	・申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ	
	・成績評価の根拠となる資料(答案、レポート、出席記録等)を保存することを定めている規定類	
	6-4-02_成績評価の根拠となる資料の保存についての申合せ	

【特記事項】		
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。		
該当なし		
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、 <u>根拠資料</u> とともに箇条書きで記述すること。		
該当なし		
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。		
■ 当該基準を満たす		
【優れた成果が確認できる取組】		
該当なし		
【改善を要する事項】		
該当なし		

基準7 大学の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること		
分析項目	分析項目に係る根拠資料・データ欄	備考
[分析項目7-1] 大学の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定していること ※学域	・卒業又は修了の要件を定めた規定	
	6-1-01_国立大学法人電気通信大学学則	第52条の2
	3-3-01_電気通信大学情報理工学域履修規程	第3、13条
	7-1-01_電気通信大学学位規程	第3条
	1-1-01_情報理工学域ディプロマ・ポリシー	
	・卒業又は修了判定に関する教授会等の審議及び学長など組織的な関わり方を含めて卒業（修了）判定の手順が確認できる資料	
	7-1-02_電気通信大学情報理工学域教授会規程	第3、8条
	7-1-03_電気通信大学情報理工学域教授会細則	
[分析項目7-3] 策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）を学生に周知していること ※学域	7-1-04_電気通信大学情報理工学域代議員会規程	第2条
	・卒業（修了）要件を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料、ウェブサイトへの掲載等の該当箇所	
[分析項目7-4] 卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施していること ※学域	6-2-01_令和3年度 情報理工学域学修要覧	p.11、18、21~22
	・教授会等での審議状況等の資料	
	7-4-01_第69回学域代議員会議事録	
	7-4-02_学域代議員会資料A-1-1	
	7-4-03_学域代議員会資料A-2-2	
【特記事項】		
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。 該当なし		
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。 該当なし		
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ■ 当該基準を満たす		
【優れた成果が確認できる取組】 該当なし		
【改善を要する事項】 該当なし		

基準 8 大学の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること

分析項目	分析項目に係る根拠資料・データ欄	備考
<p>[分析項目 8-1] 標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること ※学域及び類毎</p>	<p>・標準修業年限内の卒業（修了）率（過去5年分） 「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率（過去5年分） 8-1_標準修業年限内の卒業（修了）率（過去5年分）及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率（過去5年分） ・資格の取得者数が確認できる資料 8-1-01_令和3年度資格取得状況 ・論文の採択・受賞状況、各コンペティション等の受賞状況が確認できる資料 8-1-02_令和3年度受賞状況</p>	
<p>[分析項目 8-2] 就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学率が、大学の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること ※学域及び類毎</p>	<p>・就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況（過去5年分）主な進学/就職先（起業者も含む） 8-2_就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況（過去5年分） ・学校基本調査で提出した「該当する」資料（大学ポートレートにある場合は該当URL） https://portraits.niad.ac.jp/faculty/graduation-employment/0216/0216-1Y20-01-01.html https://portraits.niad.ac.jp/faculty/graduation-employment/0216/0216-2Y20-01-02.html ・卒業（修了）生の社会での活躍等が確認できる資料（新聞記事等） 8-2-01_大学案内2017 8-2-02_大学案内2018 8-2-03_大学案内2019 8-2-04_大学案内2020 8-2-05_大学案内2021 8-2-06_大学案内2022 8-2-07_大学案内2023 8-2-08_UEC Woman No.7 8-2-09_UEC Woman No.8 8-2-10_UEC Woman No.9 8-2-11_UEC Woman No.10</p>	<p>学域（昼間） 学域（夜間）</p>
<p>[分析項目 8-3] 卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること ※学域及び類毎</p>	<p>・学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料 8-3-01_卒業時アンケートの結果概要について</p>	

【特記事項】	
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。	
該当なし	
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、 <u>根拠資料</u> とともに箇条書きで記述すること。	
【活動取組 8-A】 本学の卒業生は社会から高い評価を得ており、全国トップクラスの著名企業（日経平均株価指数の採用銘柄の企業400者）への実就職率（国公立大学中8位）、特に、通信分野の企業への実就職率が国公立大学中トップ、電気機器・電子分野では国公立大学中3位となるなど卓越した就職実績を誇っている。	8-A-01_大学通信「大学探しランキングブック ランキングで見つかる志望大学」（2022年）
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ■ 当該基準を満たす	
【優れた成果が確認できる取組】 【活動取組 8-A】 本学の卒業生は社会から高い評価を得ており、全国トップクラスの著名企業（日経平均株価指数の採用銘柄の企業400者）への実就職率（国公立大学中8位）、特に、通信分野の企業への実就職率が国公立大学中トップ、電気機器・電子分野では国公立大学中3位となるなど卓越した就職実績を誇っている。	
【改善を要する事項】	
該当なし	
end	